

文書館だより

Fukui Prefectural Archives



「今立郡池田町西角間に残された五榜の掲示第一札」飯田忠光家文書 G0013-00784 当館蔵

第10号目次

企画展示特集	2
文書館収蔵資料展示	4
歴史的公文書紹介	5
寄贈資料紹介	6
活動報告	7
お知らせ	8

第10号

2007.10

福井県文書館

特集

企画展

「ふくいで学ぶ—地域の手習いと教科書」

平成19年7月27日～9月26日に閲覧室で企画展を開催しました。おかげさまで多くの方のご来館をいただきました。

今回の展示では、江戸時代の初級の教科書である「往来物」のなかで、県内で編集・出版されたものや使われていたものを取り上げました。江戸時代の出版は圧倒的に江戸・大坂・京都など都市部を中心としたものでしたが、少数ながら県内で出版された往来物や独自に編集された手書きの往来物が著されました。また、数少ない県下の寺子屋資料のうち木村孫右衛門家(越前市)の資料、桜井市兵衛家(若狭町、当館蔵)の手習いの手本類を展示しました。1872年(明治5)の学制によって、近代的な教育制度が始まります。この時期から86年の小学校令によって教科書検定制度が施行されるまでは、ある程度自由に各地域で教科書が発行され使用されていました。この時期に、県内で執筆・編集・出版された教科書類もあわせて展示しました。



「御手本」桜井市兵衛家文書(1798年)当館蔵

小川浦で鯨が生け捕りされたことを取り上げた手本
「小川浦大綱に鯨掛り生捕候由二而、御城下表より見物二群り候事、如何様珍敷事二御座候」



「名物往来」『合書往来』(1886年)当館蔵

「凡、北国之服食名物者(は)、若狭芍薬・蓮肉・同所之香(こう)附子(ぶし)・北浜酒・同筆、越前切石・鳥子・奉書、今庄之葛、府中之鎌・同嶋布、金津鉄・鑊(けぬき)」と若狭・越前からはじまって加賀、越中、越後、佐渡の各国の産物が列挙されています。写真のものは明治に入って刊行されたものです。



明治のはじめに活版印刷で出された英語の教科書
(左)「ホルストブック」
(1872年)国立国会図書館蔵
(右)「NEW GUIDE」
(1873年)福井市立図書館蔵



「ホルストブック」は、学制に先立って足羽県活版局で印刷されたものです。右の「NEW GUIDE」は英会話の教科書で、扉には「For use in the Fukuwi school(福井の学校で使うために)」とあります。

企画展に関連した活動

資料紹介講座

開催日：平成19年8月4日(土)
開催時間：13:30～14:30
講師：文書館職員

今回の企画展から始めた講座です。展示資料の紹介を閲覧室の展示ケース内の原本資料を見ながら行った後、研修室で、さらに詳しい資料解説を行いました。



資料紹介講座

県史講座「往来物のなかのふくい・日本海域」

開催日：平成19年8月12日(日)
開催時間：13:30～15:30
講師：八鍬 友広氏(新潟大学准教授)

福井の往来物である「名物往来」や「越前往来」、「福井町尽」などの詳しい解説などや、今後の研究課題として筆塚調査の必要性などを示唆していただきました。



県史講座

文書館からの挑戦状「めざせ文書王」

子供たちが楽しく展示を見ることができるよう、クロスワードパズルや明治時代の小学校の算数の問題、クイズなどを行いました。正解した子供たちには、文書館より文書王の認定書が授与されました。多くの子供たちが笑顔で参加してくれました。



文書王になり喜ぶ子供たち

文書館に行こう!

文書館について、中学生の仲良し3人組が調べてくれました。



福井県文書館に到着!! 福井駅前からフレンドリーバス(無料)が30分間隔で運行されています。



所蔵者の協力を得て収集した古文書などの目録を1点ずつ作成しています。



温度や湿度がきちんと管理された書庫です。古文書の資料や行政刊行物が所蔵されています。



いろんなテーマで展示をしています。楽しい企画が盛りだくさんだね。



閲覧室で福井県の歴史について調べました。



文書館は楽しいところでした。また、みんなで来たいと思います。

文書館収蔵資料展示

(閲覧室での常設展示)

文書館では、福井県に関する歴史的な資料として重要な公文書、古文書などを保存しています。収蔵資料の中から数点ずつ月1回展示替えを行っています。今回は今年度の前期展示の内容をご紹介します。

展示内容

4月 「安永6年の八重桜」

吉川充雄家文書から親鸞ゆかりの寺院を参拝した記念に持ち帰った1777年(安永6)当時の八重桜を初めとする花や葉、実などの植物とそれぞれについての書付けを紹介しました。

5月 「藤野先生の手紙2」

1900年(明治33)から1901年にかけて藤野巖九郎が受け取った手紙を通して、藤野先生が仙台医学専門学校へ赴くに至った経緯を紹介しました。

6月 「むしばまれる資料」

収蔵資料の公文書・古文書・行政刊行物・フィルムなどに残る虫喰い、かびなど様々な被害と、その対応方法、修復の一部を紹介しました。

7月 「福井藩士の住宅地図」

山内秋郎家文書の「福井藩家中屋舗絵図」と松平文庫の関係資料から幕末福井藩の家臣屋敷地図を復元しました。由利公正・横井小楠などの居住地もわかりました。



「八重桜などの花や実が入れられていた袋」
吉川充雄家文書(1777年)



「福井藩家中屋舗絵図」山内秋郎家文書(1858年)

Cover Photo Story

表紙写真：「今立郡西角間村に残された五榜の掲示第一札」(飯田忠光家文書 G0013-00784 当館蔵)

右の高札は、今立郡池田町西角間の飯田忠光家に残されたものです。明治新政府は、五箇条の御誓文が出された翌日、全国の民衆に向けて五枚の高札をかかげさせました。五榜の掲示とよばれるもので、これはそのなかの第一札です。「人間として(君臣・父子・夫婦間などの儒教的道徳である)五倫の道を正しくすること。妻や夫のいない者や親のない子や一人で住む老人、身体が不自由な者を心にかけること。殺人や放火、盗みなどの悪いことはしないこと。」などを説いています。



歴史的公文書紹介

国宝・重要文化財指定書受領証

14641-13 学務部 社寺兵事課 1961年(昭和36)



国宝・重要文化財指定書受領証



銅造如意輪観音半跏像(正林庵蔵)

1950年(昭和2)の文化財保護法施行以前は、国指定の有形文化財(美術工芸品および造物)はすべて国宝と称されていましたが、同法施行にともない、これらはすべて重要文化財に指定されました。写真左は、正林庵(小浜市太良庄)の「銅造如意輪観音半跏像」へ出された重要文化財指定書の受領証です。写真右がその仏像で、1918年(大正7)に国宝に指定され、同法施行後、重要文化財となりました。

この像は、高さ30cm余りの半跏像ですが、奈良時代前期の製作と考えられ、福井県に伝存する仏像のなかでは最古のもです。右手のひとさし指を頬に軽く添えて静かに思索する姿で、左手を右足首にのせ、左足を蓮華上に踏みのせています。像には全面に金箔が施されていましたが、現在は顔やかからだの一部にわずかに残っています。寺の縁起によると鎌倉時代、京都東寺の荘園であった若狭国太良庄に、この東寺から伝えられたとされています。なお、この受領証に昭和36年7月10日の日付があることから、指定書が交付された時期と一致せず、何らかの事情で指定書の再交付を受けたものと考えられます。

重要文化財のなかには、その後、国宝に指定されるものも出てきました。同じ小浜市にある鎌倉時代中期に建造された明通寺三重塔と本堂は、1953年(昭和28)に国宝の指定を受けました。

お知らせ

歴史的公文書の閲覧が事前申し込み制に変わりました。

歴史的公文書には、閲覧によって個人や特定の団体の権利利益などを不当に害するおそれのある資料が含まれています。このため、当館ではこれまで目録を公開する前にすべての歴史的公文書の内容を審査してきましたが、目録公開の効率化をはかり、より多くの資料を閲覧していただけるよう、10月1日から、お申し込みのあった歴史的公文書のみ、お申し込み後に審査をすることとしました。

審査は原則15日以内(大量の場合は別途)に行いますので、閲覧を希望される場合は、電話、電子メール、郵便等であらかじめお申し込みください。ご理解とご協力をお願いいたします。

活動報告

古文書入門講座

開催日：平成19年5月26日(土)、6月2日(土)、6月16日(土)
開催時間：13:30～15:30
講師：文書館職員
参加者：117名

はじめて古文書を読む方のための古文書入門講座が、3回シリーズで開催されました。入門講座は人気が高く、定員をはるかに超える申込みがありました。古文書初心者の方が古文書の世界に親しみを持っていただけるよう身近な福井県内の資料を取り上げました。



古文書入門講座

資料保存研修会

「早期発見と初期段階での対処法について」

開催日：平成19年6月29日(金) 開催時間：13:30～15:30
講師：金山正子氏(元興寺文化財研究所主任研究員) 参加者：44名

資料の劣化やカビの発生などの早期発見と初期段階での対処法について学びました。さまざまな事例を示しながら、わかりやすく解説していただき、参加者の方々からも、家での資料保存の仕方など活発な意見が出されました。



資料保存研修会

出張授業

「福井県関係の古文書が語る日本近世史」

開催日：平成19年7月11日(水) 開催時間：14:00～15:00
講師：文書館職員 参加者：35名

福井市内の高校にて、3年生の日本史の授業を選択している生徒を対象に出張授業を行いました。朝倉義景や柴田勝家の書状、太閤検地帳、寺請証文、高札など実際の資料にふれ、郷土の歴史に対する理解が深まりました。



出張授業

(生徒の感想より)

今回の授業で本物の資料に感動しました。何百年と時間がたっているはずなのに、とてもはっきりと文字が残っていて綺麗でした。福井の歴史を中心に教えてもらい、とても興味をもって聞くことができました。

日本史に苦手意識をもっていたのですが、今回の授業を聞いて日本史に興味を持てるようになりました。ぜひ、夏休みに入ったら文書館を訪ねてみたいと思いました。

文書館新聞発行

「郷土新聞」の作成や自由研究などの夏休みの宿題にぜひ当館を利用して資料を活用していただきたいという思いから、夏休み前に、中学生向けに「文書館新聞」を発行しました。それを見た多くの中学生が、郷土新聞作りに文書館へ訪れて、熱心に新聞作りを行いました。

古文書読解講座

開催日：毎月第4金曜日
開催時間：13:30～15:30
講師：文書館職員
参加者：毎月約15名

小浜の町年寄の用留である「当所珍事御触 大飢饉仕法立 書留記」の資料を使い、参加者による輪読をしています。参加者の方は大変熱心で、回を重ねるごとに難解な文字も読めるようになり、楽しく活動しています。



古文書読解講座



郷土新聞をつくる中学生

古文書紹介

寄贈資料紹介

今年度も県内外の資料所蔵者の方々から貴重な歴史資料の寄贈を受けました。
お礼を申し上げるとともに、ここでご紹介いたします。

高田富家文書(A0502)

寄贈された資料群は、だるま屋少女歌劇団に関わった所蔵者のプログラムを中心とした126点です。だるま屋は1928年(昭和3) 福井駅前(現)の県庁跡地に開店した県内初の百貨店です。だるま屋少女歌劇団は別館「コドモの国」がオープンした際に、その専属としておかれたもので、1931年11月から月毎に演目を替えながら36年7月まで公演が行われていました。32年秋頃から「時代劇レビュー忠臣蔵」などしだいに本格的な劇が上演されるようになり、「新史歌劇北莊落城」といった地域性のあるテーマにも取り組んでいました。プログラムには34年から批評・感想欄が設けられ、批評誌としての性格ももっていました。



飯田忠光家文書(G0013)

当家は次(治)郎兵衛を称し、西角間村の庄屋を務めていました。西角間村は、足羽川支流の魚見川辺に位置する山村で、角間郷7カ村(魚見・新保・東俣・東角間・西角間・菅生・定方)に含まれます。寄贈された資料は、(1)高札(2)村高関係(3)村明細帳・宗門改帳(4)年貢免状(5)売券・質物証文(6)浄願寺・八幡宮(7)入会山関係など789点です。

寄贈・寄託
について

寄贈とは資料の所有が当館になることです。寄託とは、資料を一定期間文書館に預けていただき、管理を任せいただく制度です。寄贈・寄託された資料は、くん蒸して殺虫し、温湿度の管理された書庫内に保管します。そして、資料の目録を作成し、県民のみならず利用していただきます。歴史的な資料をお持ちの方で、保存管理に困っておられる方は当館に御相談ください。

新たに公開した古文書紹介！

前号紹介後に新たに公開したものおよび近日中に公開できる資料群は以下の通りです。(寄贈寄託文書は除く。)

A0019 西蓮寺文書 福井市	C0099 飯塚五右衛門家文書 あわら市	E0013 木村孫右衛門家文書 追加 越前市
A0040 武沢敏郎家文書 福井市	C0101 白道寺文書 坂井市	E0089 毫撰寺文書 越前市
A0069 福井大学附属図書館 追加 福井市	C0105 池邑善兵衛家文書 坂井市	F0007 瓜生守幸家文書 鯖江市
A0129 水上嘉兵衛家文書 福井市	C0106 近藤彦右衛門家文書 坂井市	F0026 山森助左衛門家文書 鯖江市
A0146 福井市立郷土歴史博物館 福井市	C0110 高柴忠左衛門家文書 坂井市	X0146 往来物倶楽部(小泉吉永) 埼玉県
C0038 吉野則夫家文書 あわら市	D0035 岩原昇家文書 越前町	X0551 国立公文書館 追加 東京都
C0048 宮北巧家文書 坂井市	D0057 齋藤吉兵衛家文書 福井市	
C0049 吉本清家文書 坂井市	D0058 木下喜蔵家文書 越前町	

お知らせ

講座・講演会のご案内

古文書入門講座(2回シリーズ)

平成19年11月17日(土)13:30~15:30 定員40名

平成19年12月1日(土)13:30~15:30 定員40名

会場: 福井県文書館研修室

講師: 文書館職員

5月26日、6月2日に実施した内容で再度開催。
いずれも無料。問い合わせ・申込みは文書館まで。

出張古文書入門講座(2回シリーズ)

平成19年12月8日(土)13:30~15:30 定員40名

平成19年12月15日(土)13:30~15:30 定員40名

会場: 高浜町郷土資料館

講師: 文書館職員

いずれも無料。問い合わせ・申込みは高浜町郷土資料館まで。

古文書読解講座

もっと古文書について知りたいという方に

毎月第4金曜日 13:30~15:30 定員30名

会場: 福井県文書館研修室

いずれも無料。問い合わせ・申込みは文書館まで。

リーフキャストニング講習会

平成20年1月17日(木)13:30~15:30 定員40名

「リーフキャストニングマシンすきばめき(漉嵌機)の講習」

講師: 有友至氏(独立行政法人国立公文書館)

いずれも無料。問い合わせ・申込みは文書館まで。

リーフキャストニングマシンは虫喰いなどで破損した資料に
紙繊維を流し込み、資料を修復するための機械です。

講演会

平成20年2月2日(土)13:30~15:30

「中世越前の諸地域について」

講師: 松浦義則氏(福井大学教育地域科学部教授)

会場: 図書館多目的ホール

県史講座

平成20年2月16日(土)13:30~15:30

「グリフィスの福井生活」

講師: 山下英一氏(元中部大学国際関係学部教授)

会場: 図書館多目的ホール

県史講座、講演会は申込み不要です。

文書館だより Fukui Prefectural Archives 第10号

平成19年10月26日発行

編集・発行 / 福井県文書館

〒918-8113 福井市下馬町51-11 電話 0776-33-8890 FAX 0776-33-8891

ホームページアドレス <http://www.archives.pref.fukui.jp>

電子メールアドレス bunshokan@pref.fukui.lg.jp

ご利用案内

閉館時間

午前9時から午後5時まで

休館日

月曜日(休日は除く)

休日の翌日(土、日、休日は除く)

文書等点検期間(年間10日以内)

年末年始(12月28日~1月4日)

清掃整理日(12月以外の第4木曜日、休日の場合は翌日)

フレンドリーバス

運行日: 毎週月曜日、年末年始(12.28~1.4)を除く毎日

のりば: 市内バス5番のりば

運行時間: 平日8:30~19:00 土日祝8:30~18:00

運行間隔: 30分間隔(毎時00分、30分発)

使用車両: 1両は車椅子用自動リフト付きで、

1両はノンステップバスです。



古文書にチャレンジ

何と読むでしょうか?



ヒントはこの絵。



解答は下にあります。

編集後記

たより第10号をお届けします。

今号では、企画展とそれに関連した活動の特集しました。

今後も親しみを持っていただくために、さまざまな取り組み

を行ってまいります。ぜひ、ご来館ください。

